

会 長 挨拶

紫緑会会長 岩田邦子
(衛生技術科1986年卒)



卒業生の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年度、紫緑会の会長をさせていただきます、検査支部の岩田です。よろしくお願いいたします。紫緑会の活動にかかわって、今年で3年目になります。

紫緑会は前身の医学部附属学校の看護・検査科を引き継ぎ、京都大学医療技術短期大学部、医学部保健学科、そして現在の医学部人間健康科学科の看護、検査、理学、作業の卒業生からなる同窓会です。今年の紫緑会だよりは「40周年記念版」として発行いたします。

私は1983年に京都大学医療技術短期大学部衛生技術科に入学いたしました。今年は卒業後30年になります。現在は京都大学医学部附属病院生理検査室に勤務しております。

母校は3年制の京都大学医療技術短期大学部、その後4年制の京都大学医学部保健学科、現在は人間健康科学科となり修士・博士課程を有しています。京大病院検査部にも修士課程を卒業された方や、検査部で仕事をしながら博士課程に進まれている方もおられます。

また京大病院検査部は2015年に特定検診を除く全領域でISO15189;2012の認定を全国で初めて取得しました。ISO15189ではエビデンスに基づいた手技、品質管理が要求されます。日々の精度管理、点検、報告、記録と時間と手間がかかることは多いですが、きちんと管理された上で行った検査結果には自信を持つことができます。

臨床検査技師免許取得後も、一級・二級臨床検査士、超音波検査士、細胞検査士など様々な認定資格を取得することが可能です。ここ数年は認定試験を受験する方が増加しているように思います。このように、時代とともに教育課程や資格認定も変化してきています。

紫緑会検査支部では、7月2日に人間健康科学科と共同で、学生のための「キャリアパスセミナー」を昨年に引き続き開催しました。5名の卒業生をお招きして、学生時代の生活や就職先を選んだ理由、現在の様子をご講演していただきました。講演後の懇親会では、ざっくばらんな質問が飛び交い、大変盛り上がりました。今後も何かの形で学生さんの手助けになればいいなと思います。

ところで、もうすぐ80歳になる私の父親の話で申し訳ないのですが、学生時代の同窓会やOB会の書類作成で、なにかとパソコンの前に座って作業や電話をしている姿をよく見かけます。私は文章を作成するのはあまり得意ではなく、同じようにこの文章を書きながらパソコンの前で頭をひねっている姿を重ね、「やっぱり親子やなあ」と思わず笑

ってしまいます。

最後になりましたが、紫緑会会員みなさんの健康とご活躍をお祈りいたします。